

校長室だより No. 12 10月8日（火）

### 3年生面接指導

先月16日から就職試験が始まりました。本校では就職希望者が例年6割程度あり、今年も多く生徒が就職試験に挑んでいます。

就職試験や進学試験で面接が必要な生徒に対しては、一人につき管理職を含めた3名の教員が担当として面接指導を行っており、校長と教頭は3年全員を半数ずつ担当し、最終の面接指導をしています。

本校では週の初めにウイスタ（ウィークスタート）という礼法指導を兼ねた全校朝礼を実施していることもあり、入室所作やお辞儀などで改めて指導することはほとんどありません。しかし、その後の質問のやりとりでは緊張のために、自分の思うように受け答えができず、練習の後に「うまくできませんでした」と落ち込んだ表情を見せる生徒もいます。そんな生徒には私は次のようなことをアドバイスしています。

- ・すらすらと淀みなく準備した答えを言うことだけが要求されているわけではないこと（誰でも面接は緊張します！）
- ・質問の内容をよく理解しないでピントがはずれたことをすらすら話すより、時間がかかっても質問されたことをしっかり考えて答える（場合によっては質問の内容を確かめる）方が誠実な受け答えであること（信頼できる人はどっちか？）
- ・最後の最後まで準備や練習をすること（準備に終わりはない）

生徒によって当然話す内容は様々ですが、どの生徒も最後は「ありがとうございました。頑張ってきました。」と笑顔で挨拶してくれます。私は「その笑顔が面接で出せればいいね。」とあって送り出します。

生徒たちは試験が終わった後や結果が出た後には必ず報告に来てくれますが、このことをきっかけに日常的に生徒から声をかけてくれることも多くなりました。校長をしていると生徒と直接話をする機会はそう多くはないので、私にとってもこの面談指導の30分はとても貴重な時間となっています。

10月になり進学組の面接指導も始まりました。生徒たちの進路実現に向けての真摯な取り組みを、あらゆる場面を通じ、教職員全員で支援していきたいと思っています。